

合理的配慮の提供事例(配慮があり良かった事例含む)

| NO | 分野 | 障害種別 | 内容 |
|----|------|-------|---|
| 1 | サービス | 聴覚障害 | 会社勤めをしていた頃に、毎朝新聞を売店で買っていた。 新聞が値上がりしたが、そのことを忘れており、以前の金額を置いてその場を去ってしまった。 すると、売店の店員が後ろから走ってきて、肩を叩いて「値上がりしたので〇〇〇円ですよ」と教えてくれた。 大声で呼ぶのではなく、追いかけてきてくれて肩を叩いてくれたのはありがたかった。 |
| 2 | サービス | 視覚障害 | 飲食店にて、熱い鉄板に乗ったステーキなどを頼んだ時に、店員さんから「お皿に変えて切り分けて来ましょうか。」と聞いてくれることがあった。 以前に比べて、配慮していただけるお店が増えていると感じている。 |
| 3 | サービス | 視覚障害 | 量販店で、こちらの障害を理解してくれて、店員の方が商品の説明を丁寧に分かり易くしてくれるようになった。 これは、数年前から感じている。 |
| 4 | サービス | 知的障害 | 知的障害のある子どもと飛行機に乗った時に、座席の配慮をしてくれたことがあった。 子どもは、前の席を蹴ってしまうことがあるため、前の席に家族が座れるよう配慮してくれた。 また、「何かあったら言ってください。」と声をかけていただいた。 飲み物を聞かれる時も、本人が答えるまで待ってくれていた。 座席の配慮もそうだが、気持ちの面での配慮がとてもありがたかった。 |
| 5 | サービス | 肢体不自由 | レストランで、車いすで行っても、すぐに席を用意してもらえたことがあった。 また、複数の席を提案してくれて、「どちらが使いやすいですか」と聞いてくれた。 以前は拒否されたことがあったが、今では利用できて、選択肢も示してくれて、とても嬉しく思う。 |
| 6 | サービス | 肢体不自由 | 肢体不自由者の団体で外出をして、車いす利用者20名でレストランを予約しようとしたところ、人数や車いすのこともあり、ほぼすべての店で断られてしまった。 しかし、あるレストランでは、「車いす利用者20名」と言っても、とても良く対応してくれて、予約することができた。 また、そのレストランはエレベーターの利用が必要であり、「他の方に迷惑がかかるのでは」と聞いたのだが、「他の方には階段を使ってもらうよう説明するので大丈夫です」と言ってくれた。 その配慮が、とてもありがたかった。 |

合理的配慮の提供事例(配慮があり良かった事例含む)

| NO | 分野 | 障害種別 | 内容 |
|----|-------|---------|--|
| 7 | サービス | 高次脳機能障害 | 旅行のため空港に行った時に、受付から飛行機の中まで、従業員の方の配慮が徹底されていた。いろいろと気を使って声をかけてくれて、気持ちの面での配慮も素晴らしかった。配慮が行き届いていると、安心して利用できる。 配慮のある行動をすぐに実行に移せるかどうかは、企業ごとの教育の違いではないかと思う。 すぐに配慮ある行動をしてくれる方が多く、嬉しく思う。 |
| 8 | 医療 | 知的障害 | 小さい頃から、病院に慣れさせるために、いろいろな病院に行っていた。 最初は病院の先生も対応に困っていたが、今では、親だけでなく、本人に対してもしっかりと説明したうえで治療してくれる。 病院の方の、子どもを尊重する対応に感謝している。 |
| 9 | 医療・福祉 | 腎臓機能障害 | 体調が悪く歩けないこともあるため、病院の送迎の制度はとても助かっている。 運転手が体調を気にしてくれて助かっている。 |
| 10 | 医療・福祉 | 知的障害 | 病院で障害があることを理解してもらっており、順番を待っていると、「待っている人には説明しますので、先にどうぞ」と早く呼んでもらえることがある。 |
| 11 | 交通機関 | 高次脳機能障害 | 駅員の方が、長い距離を車いすを押して案内してくれて、ありがたかった。 人が多い駅では、通常通ることのできない専用の通路を通らせてくれたため、気持ちよく外出することができた。 また、ある会社に行った時も、専用の通路を案内してもらえた。 設備面での配慮も進んでいて嬉しく思う。 |
| 12 | 教育 | 視覚障害 | 小学校の授業で点字の勉強やアイマスクを付けて体験をするなど、障害の理解のための体験などを授業に取り入れているところがあった。また、授業を受けた小学生は「視覚障害者」とは呼ばず、「目の不自由な人」と呼んでくれる。 教育の場で、理解が進んでいて、とても嬉しく思う。 |

合理的配慮の提供事例(配慮があり良かった事例含む)

| NO | 分野 | 障害種別 | 内容 |
|----|-----|--------|---|
| 13 | 教育 | 知的障害 | 副籍で、近くの学校に月に1回通っていた。 最初は、先生がどう接して良いか分からず戸惑っている様子であったが、ベテランの先生が来て対応してくれていた。 理解のある先生の対応により、他の子ども達も障害を理解してくれた。 今でも街中で会うと挨拶をしてくれる。感謝の気持ちでいっぱいです。 |
| 14 | 行政 | 視覚障害 | 以前、母に付き添ってもらい区役所に来ていた時に代筆をお願いしても拒否されていた。 最近では、「代筆しましょうか。」と聞いてくれる。非常に助かることであり、とても嬉しく思う。 |
| 15 | 行政 | 肢体不自由 | 副籍制度の導入前に、小学校と交流をしたときに、小学1年生の娘のために「交通安全の黄色の帽子と腕に付けるワッペンをいただきたい」とお願いをしたところ、籍を置いていなかったにもかかわらず、快く帽子とワッペンをいただくことができた。 娘は、帽子やワッペンを付けて「お友達と一緒にだ」と嬉しそうにしていた。今でもその時の娘の笑顔が忘れられない。 |
| 16 | 福祉 | 精神障害 | 訪問看護を依頼してから、本人の状態が安定するようになった。 息子に対し、同じ性別の職員を手配してくれたりするなど配慮していただいた。 息子は、困ったことがあると、その男性職員の方を頼るようになった。 電話で相談にも乗ってくれていて、とても助かっている。 配慮していただいたことにより、良い関係が築けているので、とても嬉しく思っている。 |
| 17 | その他 | 腎臓機能障害 | スポーツ(体操)と一緒にしている仲間から、励ましの言葉をもらい嬉しく思う。 |
| 18 | その他 | 聴覚障害 | 車を運転している時に、タイヤがパンクしてしまった。 困っていた時に、見ていた人が代わりに電話をしてくれた。 とても助かった。 |

合理的配慮の提供事例(配慮があり良かった事例含む)

| NO | 分野 | 障害種別 | 内容 |
|----|-----|-------|--|
| 19 | その他 | 難病 | 自分がパーキンソン病だと周りの方に伝えた。 理解してくれる方が増え、「大変だね」と声をかけてくれたり、着替えを手伝ってくれることもある。 助かることが多くあり、何よりも周囲の理解があることにより、精神的な面で楽になった。 |
| 20 | その他 | 視覚障害 | 様々な場所に、トイレ等の点字表記がされているものがあり、とても助かっている。 音声案内も同様に普及が進んでいると感じる。 ただ、その反面、点字を読み書きできる人が少なくなっていることが不安な部分でもある。 |
| 21 | その他 | 視覚障害 | 外出時、困っているときに声をかけてもらうことが増えた。 周囲の理解が進んでいるのだと思う。 また、以前は白杖について理解がなく困ったことがあったが、今は白杖の意味を知ってくれている人が多く嬉しく思う。 |
| 22 | その他 | 知的障害 | 家族で旅行に行った時に、同じツアーに参加していた方が障害への理解があり、配慮をしていただいた。 子どもに食の偏りがあり、好きなものは食べ続け、嫌いなものは一切食べない。 レストランに行った時に、子どもの好きなものはすぐに食べ終わってしまった時に、ツアーに参加していた方々が、子どもの好きなものを分けてくれた。 知的障害への理解がある方から、気遣いをしていただき、とても感謝している。 |
| 23 | その他 | 肢体不自由 | 以前と比べて、外出時に声をかけてもらうことが増えた。 そのおかげで外出することに対し、気負わなくなった。 段差がある時に声をかけてくれたり、とても助かっている。 声をかけてくれるのは、大体が20代～30代の方々である。 声のかけ方も、自然に声をかけてくれるので、とてもありがたい。 |